

| 事業名            | RS名            | 事業概要                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | 論点                                                                                                                    | 見直しの方向性                                                                         | 担当課室の意見                                                                                                                                                                                                                                                       |
|----------------|----------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 地域少子化対策重点推進交付金 | 地域少子化対策重点推進交付金 | 結婚、子育てに関する地方公共団体の取組（結婚に対する取組、結婚、妊娠・出産、子育てに温かい社会づくり・気運醸成の取組）を支援するとともに、地方公共団体が行う若い世代へのライフデザイン支援や地域の結婚支援ボランティア・事業者等を活用した伴走型結婚支援などの結婚支援の取組、育児休業取得と家事・育児分担の促進や地域全体で結婚・子育て、子育てと仕事の両立や多様な働き方の応援などの結婚、妊娠・出産、子育てに温かい社会づくり・気運醸成を図る取組等を重点的に支援する。<br>また、結婚に伴う新生活を経済的に支援するため、地方公共団体が新婚世帯を対象に家賃、引越費用等を補助する取組を支援する。 | 地域少子化対策重点推進交付金については、政策効果を高めるため、一時的な現金給付は見直し、特に財政力の厳しい地域における今を生きるこどもへの支援と少子化対策を車の両輪として、地域のこども政策推進を幅広く支援できる事業へと抜本的に見直し。 | 家賃・引越費用等への現金給付は終了。結婚支援センターなどその他の取組は重点化しつつ財政力の厳しい地域を対象として子育て支援も含めて対象とする事業に移行・統合。 | 地域少子化対策重点推進事業については、本事業としては来年度以降計上せず、自治体の財政力指数を踏まえて地域のこども政策を支援する他の補助事業において、複数の地域が連携した効果の高い取組で地域において特に優先度が高い取組と認められる場合に重点的に支援するメニューの一つとして必要に応じて対応していくこととする。<br>なお、少子化対策としての政策効果が一時的・限定的との指摘を受けた家賃・引越費用等への現金給付について要件は見直す一方、真に定量的な政策効果が認められる場合のみとし、事業の縮小を図ることとする。 |

## 地域少子化対策重点推進事業（補助率：3/4、2/3、1/2）※財政力指数に応じて補助率の変更あり

自治体が行う以下の事業を支援

### ライフデザイン・結婚支援 重点推進事業

補助率3/4

- ・自治体間連携を伴う取組
- ・若い世代の描くライフデザイン支援
- ・地域の結婚支援ボランティア・事業者等を活用した  
伴走型結婚支援の充実

補助率2/3

- ・上記以外の事業



### 結婚支援 コンシェルジュ事業

補助率3/4

都道府県に、結婚支援の専門的な知見を持つ者をコンシェルジュとして配置し、自治体の結婚支援を技術面・情報面から支援するとともに、国・自治体・地域の連携を強化



### 結婚、妊娠・出産、子育てに温かい 社会づくり・気運醸成事業

補助率2/3

- ・自治体間連携を伴う取組
- ・地域全体で結婚・子育て、子育てと仕事の両立や多様な働き方を応援する気運醸成
- ・育児休業取得と家事・育児分担の促進

令和7年度の重点メニュー「地域全体で結婚・子育てを応援する気運醸成」と「子育てと仕事の両立と多様な働き方の促進」を統合

補助率1/2

- ・上記以外の事業



## 結婚・妊娠・共育ての相談機会提供・支援プログラム（補助率：2/3、1/2）

ライフデザイン支援講座やプレコンセプションケアに関する講座等を受講した新婚世帯を対象に、自治体が、家賃、引越費用等を補助する取組を支援

【対象世帯】夫婦ともに39歳以下かつ世帯所得500万円未満

【対象費用】婚姻に伴う住宅取得費用、住宅リフォーム費用、住宅賃借費用、引越費用

【補助上限】夫婦ともに29歳以下：60万円 夫婦ともに39歳以下（左記を除く）：30万円

○ 都道府県主導型市町村連携コース（補助率：2/3）※左記以外は一般コース（補助率：1/2）

都道府県が主導し、管内市町村における取組の面的拡大を図りつつ、地域における切れ目ない結婚・子育て支援体制の構築を促進



# 交付金の活用事例①

## 【岩手県一関市、岩手県平泉町、宮城県登米市、宮城県栗原市】4市町合同婚活事業

### 事業概要

事業開始：平成27年度 <総事業費> (交付金額) 【補助率3/4】

- 4市町が連携し、イベント実施に係る参加者への結婚に向けた事前セミナーの開催及び独身男女の交流イベントの実施  
⇒ 令和7年度の募集定員は男女各25人程度
- 会話しやすい雰囲気や気遣いの大切さ、自分をアピールする方法などを学ぶ事前セミナーの実施
- 4市町が負担金を拠出し、事務局となる市が予算を執行
- 事業の企画運営：4市町並びに事前セミナー及び婚活イベントを委託した業者と連携して実施

### 4市町が連携した経緯

- 同じ課題を共有する4市町において、新たな県際連携として県をこえた4市町で男女の出会いの場を創る婚活事業を平成27年度から実施

### 特徴的取組・成果

- 事業実施に係る事務局は輪番制
- 連携するメリット：市町が単独でイベントを実施するよりも、定員充足率が高く、カップル成立率も高い  
⇒ **参加者：男性24名、女性23名（カップル成立数6組(約25%)）**
- 県をこえて連携するための工夫：日常生活圏が同じエリア内であり、県境を意識しない取組である。各市町の共通課題解決のため、情報交換しながら実施

～登米市で4市町合同婚活イベント開催～ 登米市・栗原市・一関市・平泉町4市町合同婚活事業

**レトロまち歩きクイズで  
わくわく恋活**

令和6年  
**11/3**  
日・祝

会場 **みやぎの明治村**  
(登米市)

集合場所 **教育資料館** (みやぎの明治村)

当日の流れ

|       |                                                          |
|-------|----------------------------------------------------------|
| 10:30 | 教育資料館にて集合<br>○11月15日(日)から16日(月)1日(祝)まで<br>満員に達して抽選(1日1回) |
| 11:15 | 11:15から歩きクイズ(みやぎの明治村の歴史や文化)<br>○クイズで正解した方には抽選で賞品が当たる     |
| 14:15 | 抽選・フリータイム(1日1回)                                          |
| 16:00 | 終了                                                       |

参加資格 **25歳～45歳の独身男女**  
※男性は登米市・栗原市・一関市・平泉町在住者

定員 **男女各24名** ※応募者多数の場合は抽選

参加費 **1人 3,000円** 当日の食事料、飲料代、入場料など含む

申し込み締め切り **10月14日(月・祝) 送信分まで**  
※抽選者10名の10月16日(水)16時までに案内メールを送付します

申し込みはWebで  
**リビング仙台Web** 検索  
事務局／仙台リビング新聞社

お問い合わせ先  
仙台リビング新聞社 022-265-2511  
営業時間：平日 9:30～17:30、土曜 9:45～15:00 (※休館日あり)  
仙台リビング新聞社 仙台市青葉区中央1-1-1 仙台リビング新聞ビル10F  
仙台リビング新聞社 仙台市青葉区中央1-1-1 仙台リビング新聞ビル10F

主催／登米市・栗原市・一関市・平泉町 企画／仙台リビング新聞社

▲参加者募集チラシ

# 交付金の活用事例②

## 【福島県南相馬市】 指定結婚相談所利用者支援事業

事業開始：令和3年度

### 事業概要

- 出会いの機会を提供する結婚相談所と連携してサービスを提供
- 会員となった独身男女に対して様々なサポートの提供
- 参加者募集の広報

### 特徴的取組・成果

#### 内容

市が指定する結婚相談所に市民が会員登録し、結婚相手紹介サービスを利用することで、半年以内の成婚を目指す取組。

#### ○費用支援

入会金等の初期費用 20万円を市が支援

#### ○インターネット型サービス

会員がプロフィールや相手の希望条件を登録し、条件に合う相手を検索しお見合い等を申込む。（月20人まで）

#### ○仲人型+データマッチング型サービス

結婚相談所から会員の希望条件から同様に登録している方を毎月2名紹介する。

※上記サービスのほか、専任コンシェルジュがサポートを行う。

#### 成果

（令和3年度～6年度）

○利用者数 **63人**

○成婚人数 **8人**

○成婚までの期間平均  
約6.7か月

＜総事業費＞（交付金額）【補助率】  
R8見込：384万円（175万円）【2/3】  
R7実績：332万円（159万円）【3/4】





# 交付金の活用事例③

## 【鳥取県】官民連携による出会いの機会創出事業

事業開始：令和7年度

＜総事業費＞（交付金額）【補助率】  
R8見込：1,292万円（861万円）【2/3】  
R7実績：1,233万円（924万円）【3/4】

### 事業概要

- 鳥取県内の様々な会場を舞台に若年層をターゲットにした大規模な出会いイベントを民間の結婚支援サービス事業者と連携し、年2回開催（予定）
- マッチングアプリをはじめとした多様な婚活支援サービスの紹介や婚活サービスの安心・安全な利用に係る普及啓発セミナーを開催

### 特徴的取組・成果

- 鳥取県の抱える課題と㈱オミカレのビジョンが一致したことから、令和6年に出会い・結婚支援に関する連携協定を締結（令和8年も継続）

#### 実績 鳥取砂丘マッチングイベント（令和7年5月24日（土）開催）

- 当日は雨にも関わらず、**108名（男性58人、女性50人）**が参加し、**28組のカップルが成立**
- 参加者の平均年齢は、30.5歳（女性29.5歳・男性31.3歳）と課題だった若年層の獲得に成功
- 自然な出会いを求める若年層のニーズに寄り添った工夫として、「婚活」という言葉を使用しない、リアルなイベントでも、デジタルネイティブのZ世代が使いやすいマッチングアプリを活用して気持ちを伝える等、これまでの出会いイベントをイチから見直し、㈱オミカレと一緒に企画
- 参加者アンケートにおいては、**75%が「とても満足」「やや満足」との回答**

#### 「出会い・結婚支援に関する連携協定」締結式



▲連携協定締結式



#### デジタルとリアルの融合

##### デジタル



- ・マッチングアプリ「オミカレLive」を活用
- ・気になる相手がいれば「いいね」を送ってアプローチ

##### リアル



- ・プロフィールカードを気になった相手に渡す
- ・互いに交換できたらカップル成立

## 【奈良県天理市】天理市少子化・孤独・孤立等対策応援事業

事業開始：令和4年度

### ハロパトメンター（市民ボランティア）と連携した伴走支援等

＜総事業費＞（交付金額）【補助率】

R7実績：350万円（245万円）【2/3】と【3/4】

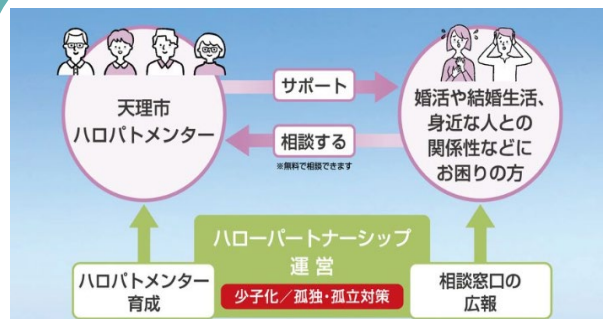
R8見込：203万円（119万円）【1/2】と【3/4】

#### 事業概要

安心して結婚・出産・子育てができる環境の充実に向け、市民ボランティアを発掘・育成し、企業や店舗等、また地元大学とも協働しながら、結婚をキーワードにした課題等を抱えた人たちが「支えあいのまちづくり」を通して、希望の持てる地域社会の実現を目指すもの

#### 特徴的取組・成果

##### ハローパートナーシップのしくみ



▲ハローパートナーシップリーフレット

##### ハロパトメンターとは

- 結婚・夫婦に関する相談、孤独・孤立支援等を行うことを目的とし、社会の現状や個人情報保護などを含むこども家庭庁結婚支援プログラムを基にした養成講座を修了した市民ボランティアのこと。

#### ①ハロパトメンターの養成及び相談支援体制の構築

- ハロパトメンター養成講座として、アーカイブ配信等を活用し、相談技法や少子化の現状等の内容を扱う12講座を実施
- 受講後は個別相談会や活動の充実に図るため、月に1回の定例会を実施

#### ②婚活イベント・機運醸成のための講演会の開催

- 地域密着型の婚活イベント（年2回）を実施
- 上記のほか隣接する桜井市と合同での婚活イベント開催や、地元天理大学との協働によるイベントを開催
- 孤独・孤立支援に関する機運醸成のため、講演会の開催

#### ③ハロパト天理応援団の募集等

- ハロパトメンターと共に「誰一人として取り残さないウェルビーイングなまち・天理」を目指して活動する店舗・企業・団体等を募集
- 令和8年3月末現在の登録数：101団体
- 応援団である地元大学の学生とのコラボイベントを開催

## 【福岡県福岡市】

### 福岡市縁結びイベント（福岡市離島における縁結び支援事業）

事業開始：令和7年度 <総事業費>（交付金額）【補助率】

R7実績：50万円（33万円）【2/3】

R8見込：120万円（80万円）【2/3】

#### 事業概要

本土と比較して出会いの場が極端に少ない離島（玄界島・小呂島）の島民に出会いの場を提供する縁結びイベントを開催。

#### 特徴的取組・政策的な狙い

##### 島民自ら企画する縁結びイベントの開催

**目的** ○結婚を希望する島の独身者に出会いの場を提供

**内容** ○離島（玄界島、小呂島）及び本土を会場にそれぞれ年2回（10月及び11月頃）、島民が企画した縁結びイベントを実施

**対象** ○島内・外の20代～40代の独身者



▲玄界島  
（本土（博多心頭）から約19km）

▲小呂島  
（本土（姪浜渡船場）から約41km）

##### 離島で開催する政策的な狙い

**狙い1** ○島民一人ひとりが人口減少や少子高齢化などの島の現状と課題を認識し、島民自ら事業を企画してもらうことで、「縁結びイベント」を持続的・効果的な取組みとする

**狙い2** ○島の魅力発信などもあわせるなどの創意工夫も凝らしながら実施することで、離島ひいては地域全体が、少子化対策に取り組む気運を醸成

**狙い3** ○行政主体の取組だけでなく、島と行政が連携し実施することにより、結婚に温かい社会づくり・気運を醸成

## 【鹿児島県鹿児島市】企業・団体間交流・出会いサポート事業

事業開始：令和5年度

＜総事業費＞（交付金額）【補助率】

R7実績：223万円（148万円）【2/3】

R8見込：239万円（159万円）【2/3】

### 事業概要

企業・団体間の交流による職業や業種の枠を超えた出会いの場を提供するほか、結婚支援を希望する企業・団体向けセミナーを開催し、結婚を応援する気運の醸成を図る。

### 特徴的取組・成果

#### ①登録企業の募集

##### 目的

- 結婚支援を行う企業・団体の増加
- 企業・団体が結婚を応援する気運を醸成

##### 内容

- 本事業の事務局を「企業団体向け 出会い交流みんなでサポートセンター」と位置付け、特設サイト、問い合わせフォームを運用

- 事業について周知し、結婚支援を行う企業及び団体を登録企業・団体として募集

##### 成果

- 登録数：91団体（R8.3.31時点）

鹿児島市企業・団体間交流・出会いサポート事業

企業 & 団体向け  
出会い交流  
みんなで  
サポートセンター

企業・団体間のつながりで、独身の方の出会いや交流を一緒に応援しませんか？



#### ②登録団体向けイベントの開催

▲イベント風景

##### 目的

- 職業や業種の枠を超えた出会いの場を提供
- 結婚・子育てを身近なものと感じてもらうきっかけづくり

##### 対象

- 自身のライフデザインを考えたい若者
- 子育て世代や若者を支える上司や同僚

##### 内容

- 登録団体間での出会いイベント開催
- 全ての登録団体から参加を募る大規模交流イベント等を開催

##### 成果

- 登録団体間向け出会いイベントの開催数：8回（R7年実績）
- 大規模交流イベント参加団体（人数）：9団体（75名）（R7年実績）





# 交付金の活用事例⑦

## 【京都府・京都市】子育ての楽しさ広げる事業

### 子どもが仮設のまちをつくる「京都版ミニ・ミュンヘン」の開催

#### 事業概要

若者と子どもとの交流の場を創出し、取組を通して「地域の中に子どもがいることが当たり前」という意識をつくるとともに、子どもの「まちづくり」への関心を高め、地域への更なる愛着心をはぐくむ

#### 特徴的取組・成果

##### ①「京都版ミニ・ミュンヘン」の取組とは

- 若者（高校生や大学生）のサポートを受けながら、子どもが仮設のまちをつくる交流事業
- 事前ワークショップにおいて、子どもたちが中心となり、まちづくりの運営に必要な事項の検討を行う。

##### 事前ワークショップ

- ・ミニミュンヘンとは  
・「まちづくり」について学ぼう
- ・通貨はどうする？  
・まちをつくるにはどんなルールが必要？
- ・実際にまちに必要なもの、仕事に必要なものをつくろう
- ・市長、副市長を選挙で決めよう  
・当日の受け入れ準備

##### 当日

※イメージ

- 当日参加の子どもも一緒に、市民となって、仮設のまちの運営をおこなう

- ①市民登録 まちに登録したら市民登録をする。
- ②仕事を探そう 職業安定所で仕事を探そう！
- ③通貨を稼ぐ 好きな仕事を見つけて働くと独自の通貨がもらえる。
- ④仕事の仕組みを学ぶ 仕事を通して、仕事とまちのつながりや、社会の仕組みを学ぶ。
- ⑤まちを運営する まちは子どもから選ばれた市長・議会により運営される。

※イメージ

##### ②令和7年度「京都版ミニ・ミュンヘン」

##### 府市協調

- 京都府・京都市の双方で費用負担。
- 企画・検討、運営についても、府市間で連携するとともに、京都市児童館学童連盟・企業等とも連携。

##### 期待する効果

- 子どもは「遊び」「働き」ながらまちを運営し、社会とのつながりを学ぶ。
- 子どもの笑顔や頑張る子どもの様子が、大人や若者の目に触れ、大人の世界に子どもが自然に入っていく。
- 子どもや子育てに対するポジティブなイメージの創出。



▲事前ワークショップから参加する子どもスタッフ募集のチラシ

事業開始：令和6年度

(府) <総事業費> (交付金額) 【補助率】

R7実績：500万円 (333万円) 【2/3】

R8見込：1,100万円 (733万円) 【2/3】

(府市町村連携会議経費含む)

(市) <総事業費> (交付金額) 【補助率】

R7実績：500万円 (333万円) 【2/3】

R8見込：500万円 (333万円) 【2/3】

## 【岡山県奈義町】子育て体験留学、移住者、多世代を巻き込んだ子育ての気運を高めるコミュニティ形成事業

こどもがつなぐ、若者・保護者・地域のコミュニティづくり

事業開始：令和7年度

<総事業費>（交付金額）【補助率】

R7実績：179万円（119万円）【2/3】

R8見込：230万円（153万円）【2/3】

### 事業概要

子育て留学体験者※や町内の若者を対象に、町内に住む先輩パパママや親子クラブとの交流・意見交換ができる機会を提供

### 特徴的取組・成果

事業の位置付け ○子育て拠点施設を核とした子育て世帯のコミュニティ形成と結婚・子育ての気運醸成

#### 1 子育て拠点施設での体験・交流

- 先輩パパママや親子クラブとの交流会
- 子育てのリアルな声を聞く意見交換会

#### 2 ワークショップの実施

- 親子新聞づくりやSNS発信に関する講座の開催
- 地域の子育てを可視化するコンテンツ制作

#### 3 情報発信活動

- ワークショップで作成した新聞やSNS投稿を通じて、「奈義町の子育て」の魅力を町内外へ発信



▲こどもを中心に多世代交流



▲参加者が投稿したSNSを町の広報紙で紹介

子育て拠点施設  
「なぎチャイルドホーム」を  
中心に地域全体で  
結婚・子育てを応援する  
気運を高める

#### ※子育て留学「なぎステイ」

都市部に住む家族が、1～2週間程度、奈義町の子育て支援や実際の暮らしを体験できるプログラム。

# 交付金の活用事例⑨

## 【三重県四日市市】父親の子育てマイスター事業

事業開始：平成22年度

“よかパパ”＝「四日市のパパ」、「よいパパ」、「余暇を楽しむパパ」

＜総事業費＞（交付金額）【補助率】

R7実績：493万円（236万円）【2/3】

R8見込：538万円（255万円）【2/3】

### 事業概要

父親の子育てに関する講座を実施するとともに、イベントや情報発信等を通し、父親の子育て参加機会の提供と知識普及の働き掛けを行うことで、こどもと家族を社会で支える気運醸成を図る。

### 特徴的取組・成果

#### ①「父親の子育てマイスター養成講座」

対象 ○子育てに興味のある男性（定員20名）

内容 ○全5回の連続講座（公開講座、単発受講も実施）  
○子育てに関する講演、お掃除講座、親子のふれあい遊び、救急講座など  
○各講座後に「パパトーク」を実施し、参加者同士のコミュニケーションを促進



▲R8養成講座チラシ

#### ②「フォローアップ講座」＜定員40名1回＞

対象 ○マイスター養成講座修了生

内容 ○育児参画に大切な事柄を改めて確認し、新たな気づきを提供

#### ③「よかパパフェスティバル」の開催

対象 ○小学生以下のこどもと家族

内容 ○父親の子育て支援を推進する象徴イベント  
○市内の子育て支援団体や「子育てマイスター」も参加し親子で楽しむことができるイベントブースを複数設置



▲R8フェスティバルチラシ

### 事業の強み

○「マイスター養成講座」は令和6年度で15周年  
○父親の子育てマイスター（養成講座修了生）は200人超  
○四日市市とパパスマイル四日市（市民団体）と協働してマイスター養成講座やよかパパフェスティバル、その他事業を企画・運営することで、パパ友を増やし、父親の子育て支援を推進

#### パパスマイル四日市とは



○「父親の子育てマイスター」が立ち上げた団体  
○パパとこどもを中心に、自分たちも楽しめる交流イベントの主催  
○四日市市や三重県等が実施する育児講座等の講師等

#### ④「よかパパスイッチADVENTURE」

○”四日市のパパが笑顔で子育てを楽しむための情報誌”  
○父親目線で、父親が子育てするにあたって必要な情報を盛り込んだ全25ページフルカラー冊子



▲R7にリニューアルした冊子

## 【神奈川県相模原市】相模原市仕事と家庭両立支援事業

事業開始：令和5年度

＜総事業費＞（交付金額）【補助率】

R7実績：26万円（17万円）【2/3】

R8見込：124万円（82万円）【2/3】

### 事業概要

育児休業等が取得しやすい環境づくりや出産・子育てを経験しても離職することなく、就労できる環境づくりなどを推進するための取組として実施し、子育て世帯等の仕事と子育ての両立を支援する。また、神奈川県社会保険労務士会と連携し、出産・子育てしやすい環境整備を進める意向のある市内企業等に対して、就労環境整備アドバイザー（社会保険労務士）を派遣し、子育て世帯等が働きやすい環境づくりを行う。

### 特徴的取組

#### ①出産・子育てに配慮した企業向けの 就労環境整備アドバイザー派遣事業

##### 対象

出産・子育てしやすい環境整備を進める意向のある市内企業等



##### 内容

- くるみん認定の取得を目指すなど、ワークライフバランスを推進
- 企業の就労環境にかかる規則や制度等の整備を行い、改善に向けた取組を図るなど、子育て世帯等が働きやすい環境づくりを行う
- 派遣したアドバイザーによる助言を基に、新たに一般事業主行動計画の策定を行う企業の計画作成や企業が取り組む補助事業に対する計画書の作成を支援

#### ②セミナーや説明会の開催による くるみん認定の周知

##### 内容

○セミナーを実施（ハイブリット開催）

●両立支援セミナー

##### 第1部

- ・育児・介護休業法の改正のポイント
- ・くるみん認定取得に向けた一般事業主行動計画の策定について

##### 第2部

- ①くるみん認定のメリット＆男性育児休業取得率の向上について
- ②相模原市「認定取得企業支援補助金」説明会  
（子育て世代の従業員が働きやすい環境づくりを整備する費用の補助（市単独補助））



▲セミナーの実施状況





## 【静岡県伊豆市】伊豆市子育て情報発信事業

＜総事業費＞（交付金額）【補助率】  
R7実績：196万円（98万円）【1/2】  
R8見込：205万円（102万円）【1/2】

伊豆市での子育てを楽しんでいる  
現役パパ・ママが発信



### 事業概要

子育て中の父母が「**パパママライター**」として企画、取材、執筆、編集を行い、子育て情報誌「**familyizu（ふぁみりいず）**」を発行。読者と同じ目線で、今の子育て世代に求められている情報をタイムリーに伝えること、子育ての楽しさを伝えることを目的とするもの。

### 特徴的取組・期待される成果

#### 子育て情報誌の発行

○「パパママライター※」による「**familyizu（ふぁみりいず）**」（子育て情報誌）を年1回発行

○市内の認定こども園等や小学校を通して各家庭に配布するほか、子育て支援センターやスーパー等にも配架



▲「familyizu」最新号

#### ●公募方法

子育て情報誌familyizuほか、伊豆市ホームページ、familyizuのInstagram、広報伊豆（年1回掲載）による募集

※公募による活動人数 14人（R8.3月現在）

#### パパママライター随時募集中！

familyizuでは随時パパママライターを募集しています。特別なスキルは必要ありません！「伊豆市での子育てをもっと楽しみたい！」「新しいことに挑戦してみたい！」「地域に貢献したい！」など、familyizuの活動に興味を持っていただけたら、お気軽にご連絡ください。

お問い合わせは  
子育て支援課へ電話、  
またはfamilyizu  
InstagramのDMへ



#### Instagramによる 子育て情報発信

「**familyizu（ふぁみりいず）**」公式Instagramにて、市内の遊び場所の情報、子育て支援情報、イベント情報、コラムなどを毎週発信

#### 「パパママライター」 向けの講座等の実施

活動に興味のある方が誰でも参加できるように、**写真撮影の講座**や**ライター講座**等を実施。

子育て世代が繋がる場にもなっている。

#### 令和6年度 familyizu 活動紹介

##### ライター講座

7月11日（木）、ライターの松山史郎さんを講師にお招きし、講座を受講しました。記事を書くときの基本や技術的なポイントを学び、目を引くタイトルのつけ方などのアドバイスをいただきました。



##### 写真講座

7月6日（土）、カメラマンの齋藤洋平さんを講師にお招きし、講座を受講しました。市民の方にも募集を募り、当日は子どもも含め20名ほどが参加。撮影のテクニックや心構えを学びました。当日の様子は、Instagramで記事を投稿していますのでご覧ください。

